

# 令和元年8月台風第10号洪水による 那賀川の出水状況について

## 長安口ダムの洪水調節能力を効果的に発揮し、 下流の浸水被害を大幅に軽減！

### ■河川改修事業・長安口ダム改造事業

那賀川・桑野川で国土交通省は、河川改修事業、地震津波対策や長安口ダム改造などの事業を進めており、阿南市は、同河川における治水対策を早急に行うように国や徳島県に継続的に要望してまいりました。主な事業として、洪水による浸水被害を軽減するため、国直轄区間の無堤地区で堤防整備を実施するとともに、総事業費を約885億円とする長安口ダム改造事業（ゲート増設、減勢工整備、選択取水設備、長期的堆砂対策）が進められています。現状では、ゲート増設が概ね完成し、6月10日から試験運用が開始されています。

### ■長安口ダム改造事業による洪水調節能力の増強

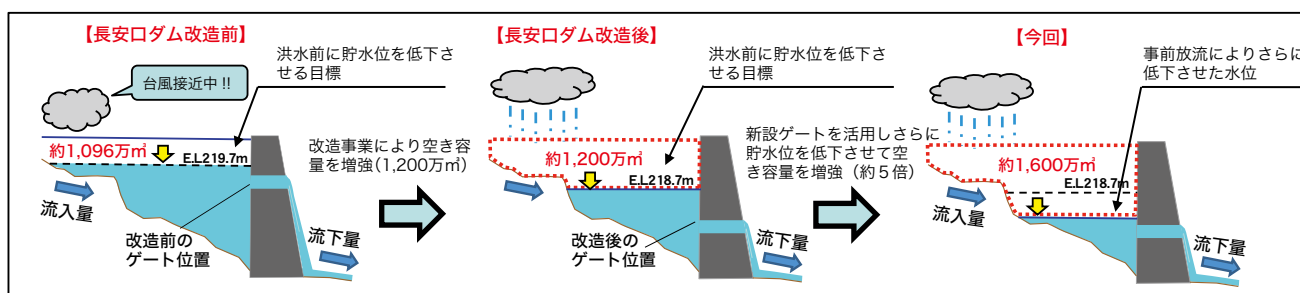
長安口ダムは、流入量の一部を貯留し、ダム下流の洪水を低減する機能を持ちます。今回の改造事業により新設されたゲートを活用し、洪水前に貯水位を低下させる目標を219.7mから218.7mに下げることにより、洪水調節のための空き容量を改造前の約1.1倍に増やしました。

さらに、今回の台風では、洪水前にさらに貯水位を低下させる時間的な余裕があり、改造前に比べ約1.5倍の空き容量が確保できました。



《8月16日新設ゲート稼働状況（約550m<sup>3</sup>/秒）》

	洪水前に貯水位を低下させる目標	確保したダム容量	改造前のダム容量との比率
長安口ダム改造前	219.7m	約1,096万m <sup>3</sup>	—
長安口ダム改造後	218.7m	約1,200万m <sup>3</sup>	約1.1倍
今回 (令和元年8月台風10号洪水)	216.3m	約1,600万m <sup>3</sup>	約1.5倍



※気象等の状況により、洪水前に確保できる容量が異なります。

### ■台風第10号での浸水被害の軽減効果

令和元年8月台風第10号の洪水では、最大流入量約3,850m<sup>3</sup>/sのうち約554m<sup>3</sup>/sをダムに貯留し、ダムからの流出量を3,296m<sup>3</sup>/sとすることで下流の洪水を低減させました。

今回の洪水では、新設ゲートを使用して洪水前に貯水位をさらに低下させることにより、長安口ダムの施設能力を効果的に発揮することができたことから、ダム下流域の浸水被害を軽減し、加茂地区では家屋浸水を回避できました。

今後も本市は、安心・安全な暮らしのために、国土交通省那賀川河川事務所と細やかな連絡を取り合っていきます。

資料提供 国土交通省那賀川河川事務所

那賀川河川事務所ホームページ（ダム記事） <http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/dam/>